

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	生産者目線で特産品をつくる！コミュニティベース創造プロジェクト
事業主体 (連絡先)	おこしーず 代表 山田喜孝 (連絡先 朝日村役場住民福祉課 信時郁美 0263-99-2540)
事業区分	主：(6) オ その他地域の特色、個性を生かした産業振興、 雇用拡大に資する事業 関連：(8) その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,377,690 円 (うち支援金：1,046,000 円)

事業内容

- ・元飲食店の空き家を改装し、製造許可付きシェアキッチンをつくる。(改装工事令和3年6月～12月)
- ・創業を望む村民の拠点、創業支援の場とする。
- ・加工品を作り、朝日村ふるさと納税の返礼品や、村のお土産として販売していく。
- ・テイクアウトマルシェを開催し、販売の場づくりをする。令和3年12月29日(水)開催



【テイクアウトマルシェの様子】

【目標・ねらい】

- ① 製造許可付きシェアキッチンをつくる→村の特産品をつくる
- ② テイクアウトマルシェの開催

※自己評価【 B 】

【理由】

シェアキッチンを使用して村内新規創業者ができ、新しい加工品が生まれた。また、テイクアウトマルシェでは多くの来場者があり、村民に喜んでもらえた。もっと多くの人に利用してもらえようになりたい伸びしろを考えBとする。

事業効果

- ・支援金を活用し空き家の改装を進めることができ、総菜製造業と菓子製造業の許可付きシェアキッチン、「シェアキッチンかざあな」を完成させた。
- ・第4回朝日村テイクアウトマルシェをシェアキッチンかざあなで開催し、村内店舗を中心として8店舗(内3名はシェアキッチンを活用した新規創業者)が店出し、100名以上の来場者があった。
- ・シェアキッチンかざあなでの新規創業者、創業希望者が集まりだしており、同じ志を持つ人たちの拠点となってきた。

今後の取り組み

シェアキッチンかざあなはおこしーずで管理、運営し、シェアキッチンかざあなでの新規創業者を増やしていく。
また、キッチンで村内産のものを加工し、新しく朝日村のふるさと納税やお土産を増やしていく。
創業希望者の目に留まるよう、村内広報紙等を活用し、情報発信に力を入れる。
販売の場づくりとして定期的にシェアキッチンかざあなでテイクアウトマルシェを開催していく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある